

地域おこし協力隊通信 (No. 94)

「地域おこし協力隊インターン生 2 人の紹介」 大山広太郎

「おためし地域おこし協力隊」に続いて 10 月から 11 月にかけて実施した「地域おこし協力隊インターン」プログラムに、2 人の方が参加しました。活動を終えてそれぞれから一言いただきましたので紹介します。



高瀬さん



狩野さん

活動の様子や町の情報を Instagram に掲載していますので、ぜひご覧ください！

地域おこし協力隊とは、国の制度で都市から地方へ生活の拠点を移し、地域で活動を行いながら、任期終了後の定住・定着を図りつつ、地域活性化に繋げる取り組みです。任期は最長 3 年間です。



TANEGASHIMA_NAKATANE

◇狩野さん (20 代・男性・大阪府)

2 年前に初めて訪れた時、青すぎる海に虜になった種子島。今回はさらに地元の皆さまと濃く関わらせていただき、人の温かさに、この島がもっともっと好きになりました。2 週間あっという間で大阪に帰るのが名残惜しくて、空港で思わず涙したぐらい！ホンマにおもろく美味しい時間をありがとうございました！また来ます！

◇高瀬さん (20 代・女性・東京都)

10 月 23 日から 11 月 5 日の期間で参加しました、高瀬と申します。インターン期間中は、たんかんジュース作りや 6 次産業のお手伝い、安納芋の糖度調査などを行いました！将来は地方創生に携わる仕事をしたいと考えているので、今回の経験を活かしていきたいと考えています。受け入れていただいた事業者の皆さま、ありがとうございました！

地域包括支援センターだより

◎お問い合わせ先
地域包括支援センター
☎️ 1223

緊急通報装置の貸出しについて

地域包括支援センターでは、高齢者の方や身体障害者などの方が急病や災害時などの緊急時に迅速かつ適切な対応が図れるように、緊急通報装置（取付型）の貸出しを行っています。

また、従来の緊急通報装置（取付型）に加え、ひとり暮らしの高齢者や認知症などによるひとり歩きの症状が見られる方とそのご家族が安心して生活できるよう、新たに「GPS 端末」の貸出しを実施しています。外出時に GPS 端末を持ち歩いていただくことにより、パソコンやスマートフォン、専用アプリから日常生活の見守りや行動範囲の確認はもちろんのこと、万が一方向が分からなくなってしまった場合には、居場所の把握・特定に役立てることができま

※ GPS 端末本体については無料での貸出しとなりますが、別途専用アプリ利用料の負担や機器の破損などによる修繕について、利用者負担によりご対応していただく場合があります。

申請方法や詳しい内容につきましては、地域包括支援センターまでお問い合わせください。

